愛南町議会 受付 -8.11.24 3

令和 8 年 11 月 24 日
午前・午後 8 時 30 分 受領

議長	事務局長	係
吉田	吉田	尾川

令和８年 11 月 23 日

愛南町議会議長　吉田　茂生　殿

愛南町議会議員　石川　秀夫

一　般　質　問　通　告　書

次のとおり通告します。

質　問　の　要　旨【答弁を求める者】

１．南宇和高校の新築工事及び教員住宅改修学生寮建設と財政負担について【町長】

１１月の臨時議会で２９９．２百万円(詳細設計の説明がない中)が議決され、１１月１６日の議員全員協議会で本定例会に９．７百万円の補正を上程予定だと説明を受けました。その説明の中で現在の応募状況について男子 18 名、女子６名合計 24 名と説明をされています。

９月１日の国への地域未来推進型補助金申請に関する当初の計画では、２０２７年度から毎年１０名２０３１年度までに合計５０名を予定されておりましたので追加新築工事費は２０２８年度に３４６百万円とされる計画の前倒し２０２７年度の一般財源からの経費も２０百万円の計画をはるかに超える予定と安易に想像されます。

一方で住民サービスは、インフルエンザの全額補助の廃止、温浴施設の条例改正にともなう価格値上げ、プール利用料の値上げ等行政サービスの低下が顕著です。

そこでお伺いします。

(１)議会が議決し、今年度は学生寮スタートの年であり、財政課題、入寮生の生活課題、サポート体制の課題も整理されない中で計画の約２．５倍の応募状況に合わせた施設整備の在り方についてどのように対応されるのか？特に今年度は応募を絞る検討はされなかったのか？

(２)現在の応募状況ですと２０２９年まで３年間で約７５名の入寮者が予定される、その場合には、寮のキャパシティー不足が発生し追加投資はど

の様な財源を検討されているのか？国や愛媛県中村知事には、陳情されていないのか？令和７年度決算の経常収支が９１．８％と財政の弾力性が無い愛南町の財政運営を今後はどの様に取り組むのか？

２．町民の命を守る救急医療、救急搬送体制の充実について【町長】

全国的に人口減少や高齢化が進み、愛南町も全国平均よりも先んじて高齢化世帯、独居高齢者の増加が顕著に進んでおります。

現在の愛南町の救急医療体制の課題は、管内の医師、医療受け入れ体制の不足、町外への搬送時間の長時間化、軽症での救急車の依頼等々たくさんあります。

町民が安心してこの愛南町で暮らし続けられるかどうか、そして、命を守ることができるかどうかという、町政の根幹に関わる問題です。
そこでお伺い致します。

（１）緊急搬送の実情について
・出動件数の推移（３年間の増減）と軽症者の依頼割合について
・地域別の到着時間と病院への搬送時間について
・ドクターヘリの出動実績と課題について
・宇和島や宿毛市への搬送している中で新たに救急要請が有った場合は迅速に対応できる体制が確立されているのか？

（２）愛南町として県立南宇和病院の医師不足、体制についてどの様に要請しているのか？

（３）ドクターヘリ活用や宇和島市、宿毛市広域連携等将来の命を守る救急医療体制についてどの様に計画されているのか？